

# 防災情報セミナー 【アンケート集約結果】

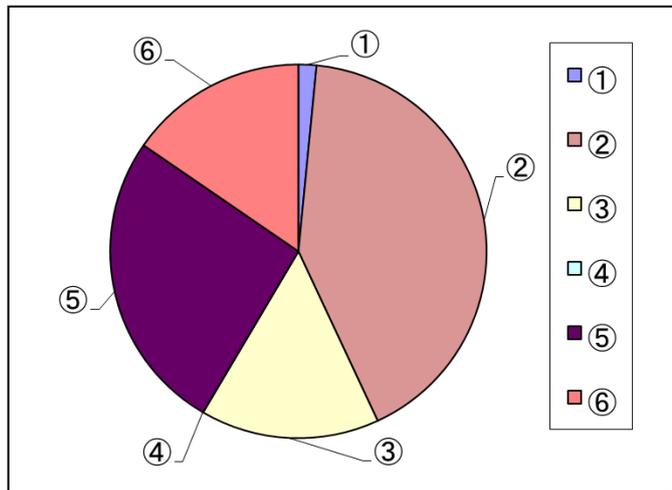
- 日時 平成28年11月2日(水) 13:20~17:00【講演・事例紹介】  
12:00~17:20【機器展示】
- 会場 岡山国際交流センター 2階 国際会議場【講演・事例紹介】  
3階 研修室【機器展示】
- 主催 総務省中国総合通信局、中国情報通信懇談会
- 後援 中国地方非常通信協議会
- 参加者数/アンケート回収数 100名/62名 (回収率62%)

## 1 開催を何でお知りになりましたか。(複数回答可)

どこから

- ①中国情報通信懇談会
- ②中国総合通信局
- ③中国地方非常通協議会
- ④新聞等
- ⑤上司・同僚・知人等
- ⑥その他

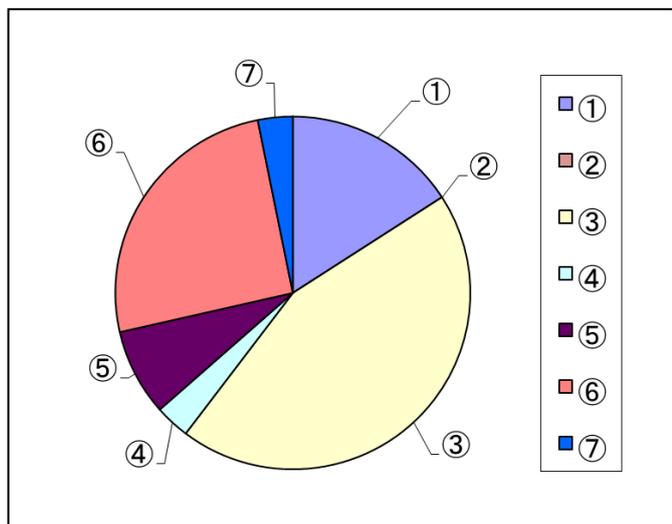
番号	回答数
①	1
②	27
③	10
④	0
⑤	17
⑥	10
計	65



## どのような方法で

- ①HP
- ②メールマガジン
- ③メール
- ④記事等
- ⑤FAX
- ⑥直接聞いて
- ⑦その他

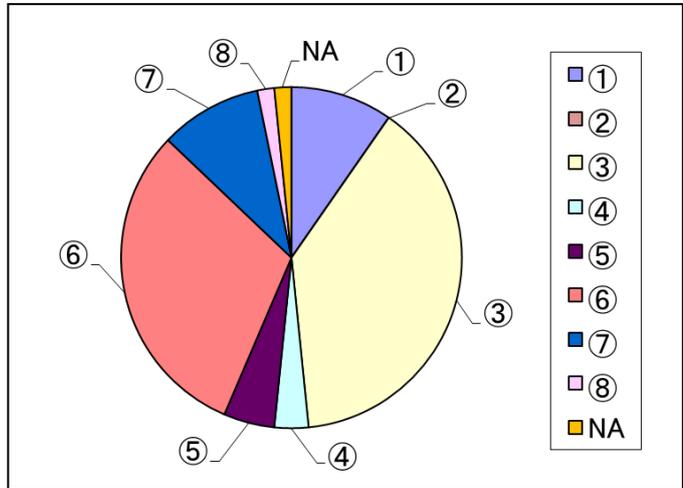
番号	回答数
①	10
②	0
③	28
④	2
⑤	5
⑥	16
⑦	2
計	63



2 貴方が所属する企業・団体等の主な分類を一つだけ○で囲んでください。

- ①製造・販売    ②エネルギー    ③情報通信    ④放送    ⑤サービス    ⑥公務  
 ⑦その他の事業    ⑧個人

番号	回答数
①	6
②	0
③	24
④	2
⑤	3
⑥	19
⑦	6
⑧	1
NA	1
計	62



3 本セミナー各話題についてご意見・ご感想をお願いします。

- (1) 講演1 演題 自動車やスマートフォン等を利用した非常時の通信ネットワークの構築について  
 講師 総務省 総合通信基盤局 電気通信事業部 電気通信技術システム課  
 企画係長 河合 直樹 氏

大変参考になった	13	興味がわく話だった	19
参考になった	37	興味がわかない話だった	2
あまり参考にならなかった	0	おもしろかった	1
全く参考にならなかった	1	つまらなかった	2

1. アドホック通信NWを整備するためには、端末・自動車だけでなく、様々な機器端末でNWを構成していくことが必要と考えます。
2. 随時、経過報告を聞きたい。
3. アドホック通信の今後の展開。
4. IT→ICT→IoTとIT技術の目ざましい進化の中、今後の活用・発展に期待したい。
5. 将来の自動運転社会を見据えた新しい災害に強い通信システム。
6. 平時からの活用が重要ポイントだと感じる。
7. ネットワークが災害により断になることが想定されます。それをどのようにバックアップするかの取り組みが聞けてよかった。
8. 何を参考にすればよいのか？ 現場とはかなり水準が違うのだなと感じました。
9. 今後に期待。
10. 平時利用を目的に実証を行い、その後防災に利活用を行うべきと思う。

(2) 講演2 演題 災害時に役立つスマホアプリ

講師 ハーバー・ソリューションズ株式会社 代表 久賀 公夫 氏

大変参考になった	17	興味がわく話だった	24
参考になった	30	興味がわかない話だった	0
あまり参考にならなかった	2	おもしろかった	4
全く参考にならなかった	0	つまらなかった	0

1. 導入事例をたくさん聞きたい。
2. 情報の多層化の為の手段として、ICT技術も取り入れたスマホは、今後のキーワードとして活用は必須と感じた。
3. アプリ開発の思想を教えていただいたと思います。避難所の災害別分類は、重要と思いました。
4. 住民目線での活用であり、自治体内の防災・減災の次に取り組みが必要であると感じた。

(3) 事例紹介1 演題 平成28年熊本地震における九州総合通信局の取組

講師 九州総合通信局 防災対策推進室長 千田 信久 氏

大変参考になった	20	興味がわく話だった	11
参考になった	35	興味がわかない話だった	0
あまり参考にならなかった	1	おもしろかった	0
全く参考にならなかった	0	つまらなかった	0

1. 通信手段、情報配信手段の確保という観点は、非常に大切なこととあらためて理解できた。ただし、南海トラフが、発生したときに対応できるか、不安を感じた。
2. 災害時の生々しい対応状況、情報伝達インフラ処理対策の重要性を改めて認識した。
3. 熊本地震時の実際の対応を聞いてよかったです。
4. 実体験と災害対応がよく理解できました。
5. 時間に追われ、大変そうであった。

(4) 事例紹介2 演題 江田島市の防災ARアプリ

講師 江田島市 危機管理課 課長補佐 速山 政治 氏

大変参考になった	15	興味がわく話だった	12
参考になった	36	興味がわかない話だった	0
あまり参考にならなかった	1	おもしろかった	3
全く参考にならなかった	0	つまらなかった	0

1. ポイント交換制というところが興味がありました。平常時の活用が導入のキーと考えています。
2. 防災アプリを活用した住民、観光者向けへの情報伝送について参考となった。
3. 普及のためのステッカー、ポイント付与に興味深い考えと思いました。

(5) 事例紹介3 演題 タブレット端末を利用した情報伝達システム

講師 直島町 総務課 主査 中野 崇 氏

大変参考になった	25	興味がわく話だった	18
参考になった	26	興味がわかない話だった	0
あまり参考にならなかった	0	おもしろかった	3
全く参考にならなかった	0	つまらなかった	0

1. 無償配付には、驚きました。ランニングコストは、どのような取扱いなのか知りたい。
2. 視察に行きたい。
3. 常設の消防署がない中で、町民への情報伝達として、タブレットや防災無線との連携が参考になった。
4. 非常に実用的でわかりやすい内容だった。
5. 高齢者も多く使えているところがすごい。
6. 平時の情報伝達、非常時の情報伝達への島ならではの取り組みが聞けてよかったですと思います。

(6) 機器展示

大変参考になった	4	本年度又は来年度に導入したい	0
参考になった	36	予算措置が可能であれば導入を検討したい	3
あまり参考にならなかった	6	導入しない	1
全く参考にならなかった	0		

1. MCA無線。
2. 他社情報が分かり参考になった。
3. IP無線について、機能・価格について選択肢の1つとして考えることができるサービスであった。

(7) 上記(6)で大変参考になった又は参考になったと回答された方のみにお聞きします。  
(大変参考になった又は参考になった企業名を○で囲んでください。(複数回答可))

(一財)移動無線センター中国センター	6	西日本電信電話(株)	6
(株)NTTドコモ	6	日本電気(株)	14
(株)シーオーテック	6	日本電信電話(株) 未来ねっと研究所	5
TOA(株)	5	富士通(株)	18

4 これからの電波利用について、関心のあることや期待することをお書きください。

1. 防災アプリを観光・旅行先で端末の許可なくDLするシステムが必要ではないかと考えます。その土地を離れると削除されるようにする。
2. デジタルの世の中になり、不感地帯を少なくする取り組み。
3. 5G
4. スマホ、IoTの今後の技術検討等に関する内容(継続検討技術事項)。
5. キャリア電波の災害時の対応・有効性。

5 今後、取り上げて欲しいテーマや講演者等について、ご自由にお書きください。

1. 今回はARを活用したものが多かったが、VRに関する取り組みがあれば参考にしたい。
2. キャリアによる災害時の電話パケット回線の想定・予想される状況。
3. IoTについて岡山でセミナーを開催してほしい。
4. AI、IoT
5. 特にございませぬ。